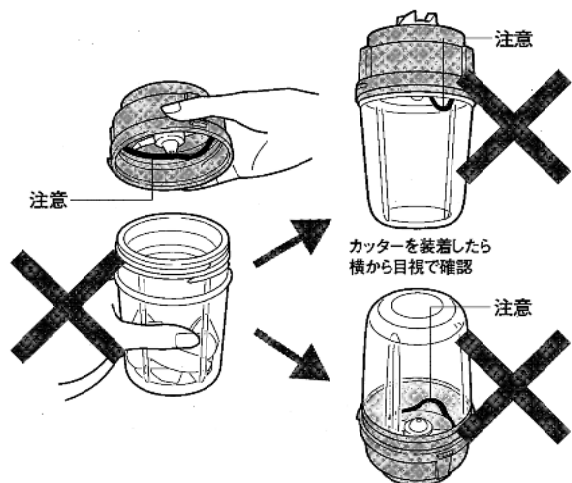


# 取扱説明書 特別注意事項 **特にご注意ください** 要保管

ここに記載されている内容は、取扱説明書に書かれている項目の中でも特に重要な事項です。取扱説明書をまず先にお読みいただいた後で、必ずお読みください。

## パッキンを切らないようにご注意ください。

容器をカッターに装着する際に、パッキンが所定の位置から浮き上がったり、はずれかけていると、ミルカッターの作動時にプロペラがパッキンに当たり、切れてしまいます。必ず正しい位置に装着されていることを確認して、容器をしめつけてください。



### 特にパッキンが浮き上がったり、はずれやすくなる状態

- カッターやパッキンが水に濡れている場合。
- パッキンに食品が付着している場合。
- ジュースを続けて作っている場合。
- ペースト食を作っている場合。

→ **特にご注意ください。**

## とても硬い食品の粉碎は行わないでください。

非常に堅い食品の粉碎(例:塊の鰹節、スライスされていない塊のウコン・干椎茸、白いんげんなど)や氷だけの粉碎はできません。また、非常に繊維質の強い食品の粉碎(例:猿のこしかけ、根昆布など)もできません。このような食品を加工しようとする、プロペラが折れてしまったり、カッターの軸棒が折れてしまって、使用できなくなる場合がありますので、こうした加工は絶対にしないでください。



# 長時間の連続運転にはご注意ください。

## ■軽くて乾燥のすすんだ材料の場合

緑茶や唐辛子、昆布やひじきなどの海藻類、ウコンなど、特に軽くて乾燥のすすんだ材料の場合は、連続作動時間が長くなると、摩擦熱による急激な温度上昇により、ミル容器やカッター部が破損・故障する場合があります。

取扱説明書に記載されている連続使用可能時間を越えた連続作動はしないでください。

## ■長い時間の運転や、断続的な連続使用は故障の原因となります

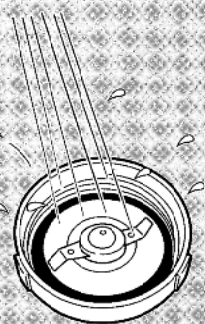
連続運転や、断続的な連続使用時間が、取扱説明書記載の連続使用可能時間を越えるようなご使用がありますと、カッターの軸棒が摩擦熱で急激に高温化し、カッター側ジョイントがはずれたり、プロペラが回転しなくなって故障にいたる場合があります。



カッター側ジョイントがはずれた状態の例(使用不能)  
正常な状態では、このようにはなりません。

## 1分を越えて続けて使いたい時には、 次のような処置を行ってください。

- カッターを自然放置して約30分休ませてから次の作動を行う。
- カッターを水道の流水にさらすなどして、カッターの回転軸周辺の熱を冷ましてから次の作動を行う。  
ただし、こうした処置をした上での断続的な連続使用も、4回以上となる場合は、本体・カッター共に、約30分くらい休ませてからご使用ください。
- スペアのカッターを部品で別売購入し、交互に使いまわす。



※ジュース容器やミルカッターの裏側(本体とジョイント部分)に使用中に油が付着する場合があります。これは作動をスムーズに行うための潤滑油であり、異常ではありません。

## 株式会社 良品計画

〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3

お客様室でんわ 03(3989)5200

土・日曜を除く 10:00~17:00